

機械器具 76 医療用吸入器
一般医療機器 非加熱式ネブライザ 35457000

AQUA-Neb プラス

【警告】

〈使用方法〉

薬剤の種類、用法・用量については、必ず医師の指示に従うこと。

【禁忌・禁止】

〈使用方法〉

1. ネブライザー及びマスクは同一患者使用のため、他の患者に使用しないこと。
2. 当社指定の構成品以外の組合せで使用しないこと [相互作用の項参照]。
3. 規定量を超える量の薬剤（最少 2mL、最高 8mL）を入れないこと [霧化能力が低下したり、薬剤もれが生じるため]。
4. 本体の通気口を塞がないこと [高温になり、やけどや故障の原因になるため]。
5. 20 分以上連続して使用しないこと。20 分使用した後は、40 分以上電源を切ってから再使用すること。

【形状、構造及び原理等】

1. 形状

本品は、コンプレッサー本体、ネブライザー(※1)、送気ホース、電源コード及びマスク（非医療機器）等から構成される。

代表的写真



(※1)販売名：PARI ネブライザー届出番号：27B1X00024000317

2. 原材料

マウスピース：ポリプロピレン
マスク：ポリプロピレン、TPE

3. 原理

本体内部のコンプレッサーにより発生した圧縮空気が送気ホースを介してノズルから吐出される時、ノズル部と吸水管の間に生じる負圧作用によって薬剤が上部へ吸い上げられる。吸い上げられた薬剤は上部のバッフルに衝突し、ベンチュリ効果によって極小の霧状粒子となって外部に噴出する。通常は連続噴霧であるが、噴霧ボタンを使用することにより、患者のペースに合わせたインターバル噴霧に切り替えることができる。使用するネブライザーによってはノズルインサートの種類により粒子径が変動する。

4. 電氣的定格

- 1) 定格電源：AC100V、50-60Hz
- 2) 消費電力：54W

5. 機器の分類

- 1) 電撃に対する保護の形式による分類：クラスⅡ機器
- 2) 電撃に対する保護の程度による装着部の分類：B 形装着部

6. 電磁両立性規格（EMC）

本品は、EN60601-1-2:2007+AC:2010 に適合している。

【使用目的又は効果】

患者に吸入させるため、エアロゾル化した医薬品を供給する装置をいう。エアロゾルを発生させる酸素又は空気源、医薬品のリザーバ、バッフル、コンプレッサを内蔵する。

【使用方法等】

1. 使用方法

- 1) コンプレッサー本体を平らで固く安定した場所に置く。
- 2) 電源コードをコンセントに接続する。
- 3) コンプレッサー本体のカバーを開き、エアコネクタとネブライザーに送気ホースを取り付ける。
- 4) ネブライザー上部から薬剤を入れ、蓋を取り付ける。
- 5) コンプレッサー本体の電源を入れる。
- 6) ネブライザーをまっすぐに持った状態でマウスピースをくわえ、吸入を開始する。
- 7) マスクを使用する場合は、鼻と口を覆うように顔に密着させる。
- 8) ネブライザーの音が変わったら、薬剤が噴霧されていないことを確認し、電源を切る。

2. 使用方法に関連する使用上の注意

吸入する際、ネブライザーを傾けないこと [霧化能力が低下したり、薬剤もれが生じるため]。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- 1) 人工呼吸器の回路に接続して使用しないこと [本品は吸入用であり、呼吸回路に接続すると回路内圧が異常をきたすおそれがあるため]。
- 2) 小児（3 歳以上）が吸入する場合は、保護者の監督の下で行うこと。
- 3) 水を用いて吸入しないこと。

2. 相互作用

併用禁忌（併用しないこと）

医療機器の名称等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
当社指定の構成部品以外の製品	機器に重要な損傷を与え、故障又は適切な吸入ができなくなる可能性がある。	本品との併用に関する安全性が確認されていない。

3. その他注意

- 1) ほこり・ちりの多い場所や浴室など湿気の多い場所で使用しないこと。
- 2) 長期間ネブライザーを使用しなかったときは、洗浄・消毒してから使用すること。
- 3) ノズルが詰まったら新しいネブライザーと交換すること。
- 4) 本体のエアフィルターカバーをふさがないこと。

【保管方法及び有効期間等】

有効期間（使用期間）

コンプレッサー本体：5 年

エアフィルター：180 日又は使用時間 500 時間

ネブライザー：使用開始から 1 年

送気ホース：使用開始から 4 週間

マスク：使用開始から 2 年

〔自己認証（当社データ）による〕

【保守・点検に係る事項】

1. 消毒・滅菌・洗浄方法（コンプレッサー本体は除く）

- 1) 使用後すぐに残った薬剤を捨て、清潔な水で洗浄すること。汚れが落ちにくい場合は、中性洗剤と温水で洗浄し、洗浄後は清潔な水で洗剤を十分に洗い流す（送気ホースは除く）。
- 2) 消毒・滅菌する場合は、すべての部品を分解し、以下の方法のうち適切な方法で行うこと（送気ホースは除く）。
 - ・オートクレーブ滅菌
(121℃ 20 分又は 134℃ 3 分)
 - ・煮沸消毒（15 分間）
 - ・ポリプロピレン樹脂に適した消毒液による消毒
 - ・蒸気消毒（例：哺乳瓶蒸気消毒器）
- 3) 洗浄後すぐに乾いた布で水滴を拭き取り、清潔な場所でじゅうぶん乾燥させること。
- 4) 送気ホースは使用後、結露や水分が残っていないか確認し、水抜きを行う又は乾いた布で水滴を拭き取り、完全に乾燥させること。

2. 点検

- 1) 使用前に各部品に破損、変形、変色等の損傷がないか確認すること。
- 2) 使用前に、各接続部がしっかりと接続されているか確認すること。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：村中医療器株式会社

TEL 0725-53-5546

<http://www.muranaka.co.jp/>